

も離れてからざり根本的の立場あり、公の立場あり、以
上可致度の理想を實現するが爲めには健全なる民衆の政治
的自覺を先決條件とする。自覺の上に立つ自治の訓練と先
決條件とする。民衆政治の眞の推進の爲めは健全なる
自治の確立を外して是れ。然るに今や我々の政治は中央
議會といはす地方議會といはす、皆下り既成政黨の毒牙に喰
はれ、自治の体は使らば地方ブルジョアが蹂躪し、尙やこれに
よる。従つて地方農村に於ては耕作階級が生活及び小都會
に於ては小商人其の他、生活は都市労働者の生活の様、或は
それ以上は更に疲弊し困憊し到底尋常一様の手続を以てし
ては之を厘政する能はざる状態にあり。乃ち今日に於ては
救済策事は第一は先づ地方自治体を既成政黨の手より奪取
して、民衆自身に依り地方自治の根本を確立するところあり。
第二は府縣町村の財政税制を以て、初等階級市民の大部分を
加へしめ、以て蹂躪せられざる生活の權利を正當に奪還する

ことあり。第一は行政組織といはす教育制度といはす、初
等農村針畫といはす、凡ては通じて行はる、封建的官僚的割
一以中央集権的弊凡を排し、民衆的社会的自治的、分権的、制度
に之を置き換へる事あり。斯の如くして初めて、全国民衆
よる新社会の建設は第一歩を踏み出さる。若し夫れ各地方に於
ける特殊の向題を備しては、此の地に於いてそれ、
正なる批判を加へ、以て根本的の解決策を見出すこと、同時に
の絶対的機会に於て一切既成政黨の欺騙手段を暴露し、全
民衆の正しき自覺を促し、最初の一歩を悉く我党に歸合
する、覺悟を以て奮闘努力せらるるべきである。

昭和五年七月十日

社会民衆黨府縣會選舉全國協議會